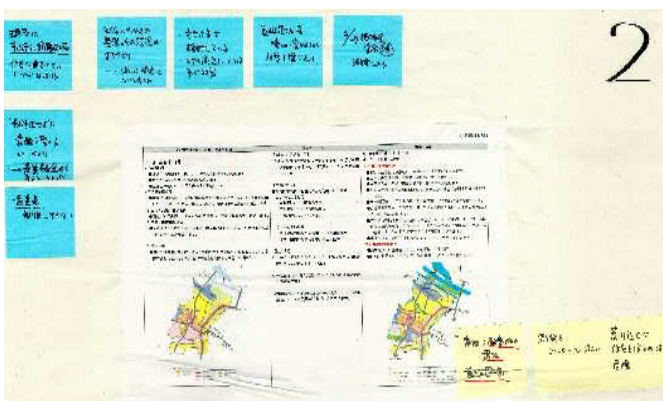
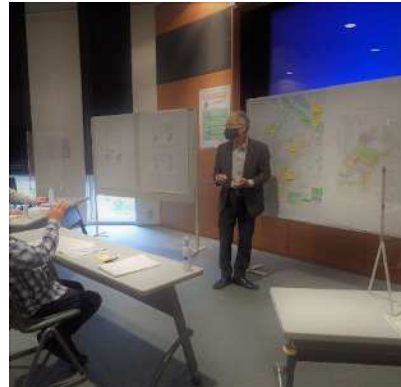


和光市都市計画 マスタープラン 第1回地域別懇談会 まとめ

【開催概要】

- 日 時：令和3年5月16日（日） 午前10時00分～正午
- 会 場：中央公民館3階視聴覚室
- 参加者：3名
- 協議内容
 - ・和光市全体について
 - ①あなたが好きな場所
 - ②ここは何かならないかなと思う場所
 - ・これまでの進捗や今後の方針等について
 - ①土地利用
 - ②道路・交通
 - ③その他（公園・緑地・環境、防災、生活環境、景観）

【開催状況】



- 和光市全体について
- ①あなたが好きな場所
 - ②ここは何とかならないかなと思う場所



これまでの進捗や今後の方針等について

【意見概要】 ○市民意見 ●行政説明

◆地区区分について

- 地区の区分はどう変わるの？
- 現行の都市計画マスタープラン地区区分はA～Eの5つに分けられている。和光市の第5次総合振興計画では9つの小学校区を目安に組み立ててある。
今後は、まちのあり方、防災やまちの特徴を考慮したコミュニティが重要であると考えている。地区区分については、この考え方を基本として事務局案を検討している。特徴のある駅周辺で1つ、市役所や樹林公園などを含む南側、区画整理や都市計画道路の未着手区間がある地域、国道254号バイパス沿いの今後開発が進む北側というまとまりで分ける方法を検討中である。
- 自治会の加入率が低いので、学校区単位の方が防災や地区社協などの活動を意識する方が実態と合う。
- 新倉小と下新倉小のある地域が同じような特徴であれば、それを合わせて一つの地区とするという考え方。20年後のまちづくりの議論をしやすい区分としたい。
- 第四小は台地の上、第五小は白子川に近いので、同じ地区でよいのだろうか。防災訓練の時には第四小のすぐそばにある第三中に集合する。
- 学校ができた経緯があるので、尊重したい。自治会は地区社協との連携が強いので、ソフトでカバーする方法がよい。白子小は市内で2番目にできた小学校だが、自治会活動が主体となり地区社協がない。子どもの数が多くなり下新倉小ができた。
- 荒川の氾濫に対して住宅開発は控える方がよいと考える。農地もあるが廃棄物の中間処理場が多数あり、そのそばに人が住むのは控えたい。農業の継続をはじめ、開発をコントロールしていくことが重要。
- 第四小は近くに諏訪原団地があり、その人口の増減により影響を受ける。「人口ビジョン」によれば、各地区にどのような人が住んでいるのか、将来どのようなようになるのかという数値的な根拠を基に区域分けをしたらどうか。

◆基本理念について

- 「暮らしやすいまち」という表現が具体的でよい。現在の「和光らしさ」というのは具体的に何なのかが分からない。
- 「ふるさと」と「ホームタウン」の違いを考えると、現在の若い人はふるさとを持っていないので、2世代目の人たちが和光市を「ふるさと」ととらえてほしいというのは理解できる。「ホームタウン」は東京の「ベッドタウン」へのアンチテーゼだったと思う。
- 将来都市像は、このままで大丈夫か？100年会議で出されたワードを集めて作ったものだ。マスタープランの検討市民委員会では当初は「みんなをつなぐワクワクふるさと和光」というお題だったが、会議を通して変わったものである。
- 検討市民委員会を踏まえて変更し、都市計画審議会には案として報告している。今後、いろいろな意見を通じて変わることが考えられる。

○シビックプライドへつなげるという趣旨でよいか？

●みなさんの意見を反映しながら決めていきたい。

○公園などでは自主管理、協働運営を進めているが、都市づくりの柱として盛り込んでもらいたい。

○経済成長とあるが、無駄なことをしないことが大切であり、「稼ぐ自治体」というようなニュアンスはこれからの時代に相応しくないのではないか。

◆将来の全体都市構想について

(特になし)

◆土地利用方針

○農地の間に、産業廃棄物の中間置き場、資材置き場が増えてきている。優良農地はキツイ縛りがあるので変わらない。

○市北部はハザードマップで浸水が想定されているので、住宅地とするのは危険である。農家の分家として少しずつ増えてきている。都市基盤が必要になってくる。

●低地部分は市街化調整区域なので都市化は進めない。また、浸水区域に当たっているが、国道 254 号バイパスの周辺整備について、みなさんの意見をお聞きたい。

国道 254 号バイパスは広域的な機能を担っているが、和光市では浸水区域を住宅地とすることは避けなくてはならないと思っている。今回のマスタープランの中で方向性を示したい。国道 254 号バイパスの周辺部分は市の役割なので、産廃の置き場や資材置き場について、地域別懇談会での意見も参考としながら方向性を検討したい。

●朝霞県土整備事務所が、3 月 27 日に対象地域へ測量に入るための説明会を開催したと伺っている。

○市街化調整区域の一部を市街化区域に編入しないと区画整理事業は進められないと考えるが、編入せずに産業廃棄物施設や資材置き場を整えていくことが可能なのか。また農地の保全についても、生産緑地は市街化区域における制度なので、調整区域においても何らかの方法で盛り込んでいきたい。

●農業委員会の意見によると、市街化区域と調整区域における農地のあり方が異なる。産業用の利用については個人の財産に対して制限はかけられないが、都市マスタープランにおける市民検討委員会などの議論をふまえて、今後の方向性を検討したいと聞いている。

◆道路・交通について

○外環の側道において自動運転の社会実験が進められると聞いているが、坂も多いので安全性が気になり。住宅地に接しているので出会い頭も危険。

○判断は、時代が変わった次の世代に委ねたい。

○歩道の中央にある花壇はスピード制限を意図したものだが、少しずつ撤去している。

○電動自転車がものすごいスピードをだすので、罰金制度など交通ルールを整えてほしい。

◆防災について

- 全小中学校を避難場所に指定してもらいたい。現在指定されている避難場所（総合体育館）は遠くへ行けない。
- 以前は市が主催の避難訓練でヘリコプターなどが来ていたが、やらなくなった。かつては9都県市の避難訓練は実施したこともある。啓発の意味で実施してほしい。
- 自治会連合会（市域全体）では開催している。
- 地域防災訓練を最近あまり実施していない。役員が高齢化し、なかなか実施できない。
- 自治会の加入率が低いことも地域防災が進まない原因である。

◆景観について

- 全域は難しいので景観ゾーンは重要。広沢地区の再開発において、公共施設はお手本となるシンボリックなものを作ることが必要である。現在ある電柱を地下化するには費用がかかり難しいので、土地区画整理事業を進めるに際してインフラ整備に電柱の地下化を盛り込んで欲しい。
- 景観重要建造物は①新倉のふるさと民家園、②第四小学校 C1285 蒸気機関車、景観重要樹木は③長照寺の大いちょうに決まったのか？
- 令和2年度に第四小学校 C1285 蒸気機関車と長照寺の大いちょうの指定は完了している。標識について、長照寺の大いちょうは令和2年度に設置したが、第四小学校 C1285 蒸気機関車は令和4年度での設置を目標としている。
- 維持管理や運用方法についてはどうなるのか？現在第四小学校 C1285 蒸気機関車は市の施設なので市の管理になるのか？
- 和光市として、景観審議会に景観重要建造物、景観重要樹木に対してどのような維持管理や運用支援が可能かを諮る予定。近隣市の状況を調べている。現在、第四小学校 C1285 蒸気機関車についてはNPOが活動しているが、支援内容については今後の議論になる。
- 長照寺の大いちょうの指定条件は？
- お寺との協議を通じて支援の希望は聞いているが、具体的な支援方法については景観審議会に委ねる。ただ、生涯学習課による天然記念物の指定も重なっているので、支援内容の分担も検討している。
- 宗教法人の所有物に対する指定の判断基準は？
- 景観重要樹木として推薦されたものを対象に景観審議会で審議し、樹齢推定 700 年という県下でも有数な大木が地域の景観づくりに寄与している、という判断に至った。

【地域別懇談会の主な意見について】

- ・地区区分
- ・基本理念（まちづくりの目標）
- ・土地利用方針 市街化調整区域、農地の保全について
- ・道路・交通体系の方針 歩行者の安全性の確保
- ・都市防災の方針 防災訓練の重要性について